

## 自然破壊・税金の無駄使いの徳山ダム 今一度立ち止まりみんなで考えよう！

5月29日、後援会で徳山ダム建設現場の見学に行ってきました。

約2,500億円の税金を投入してきた本体工事、進捗率43%の現場を目の当たりにしました。これから更に1,000億円近くの税金を投入し、益々財政負担と自然環境破壊を推し進めるのか、それともここでストップして最小限度にとどめるのか・・・。選択するのは、私たち住民ひとりひとりです。

### 岐阜県の負担は713億円に！

水資源機構は、徳山ダムを完成させるため、約1,000億円の追加を徳山ダム利水者である関係自治体に求めていました。しかし、各自治体とも水あまり状態で、利水権を一部返上、国土交通省は徳山ダムの総貯水量は変えず、容量の目的を利水から治水へ大きく変える変更案を発表しました。

その結果、岐阜県の負担額は517億円から713億円一気に跳ね上がることになりました。

### 徳山ダム総事業費負担額 (単位：億円)

	従来計画負担額	新計画案負担額
国	1088	1733
愛知県	208	257
岐阜県	518	713
三重県	62	101
名古屋市	186	206
電源開発	478	490
総額	2540	3500

### 岐阜県負担額の内訳

(単位：億円)

	従来負担額	新計画負担額
治水分	251	438
利水 上水道分	69	84
利水 工業用水分	197	191
合計	517	713

### 上水道負担分84億円は西濃14市町住民が負担？

上水道分84億円は一般会計から出すことはできません。利水地域となっている大垣市をはじめ、西濃14市町の水道企業会計から支払うこととなります。しかし実際にダムの水を水道水として利用するためには、更に何百億とかかる導水管工事が必要となり、住民の負担額は84億円ではすみません。

しかも今回の増額について、大垣市をはじめ関係自治体に同意を求める打診は何もなく、県が一方的に同意してしまいました。(そもそも「大垣市が徳山ダムの利水者」という議決の事実がない)3年後の完成と同時に発生する84億円の支払い義務、果たしてこのお金は一体誰が払うことになるのでしょうか。

### 治水分 岐阜県の負担額75%増

今回の変更案では、徳山ダムの治水容量の増加で治水負担分が200億円近く増額することになります。小川市長は「揖斐川流域住民の悲願である治水安全度の向上のため、徳山ダムの2007年度完成を」といい、梶原知事は「地域も望んでいることからやむを得ない」とコメントを発表しました。

しかし、この地域の治水対策を徳山ダム頼りでよいのでしょうか。徳山ダムがカバーする集水域は揖斐川水系全体の18%にすぎず、荒崎地区に甚大な被害をもたらした7.10豪雨のような「根尾川型」洪水の場合は、徳山ダムの洪水調整効果は極めて小さいことが明らかになってきています。

### 揖斐川流域の河川改修が一番遅れている。

大垣輪中水防事務組合の区域には、重要水防箇所として国土交通省、岐阜県管轄合わせて、111箇所が指定されています。過去に何回か水害被害をもたらしながら、未改修河川のまま今まで放置されてきました。

この地域の水害被害をなくすためには、揖斐川流域の河川改修を行い、大谷川洗堰周辺を遊水地とする囲堤整備に予算を投入した方が、よほど効果的で「費用対効果」の高い治水対策となるのではないのでしょうか。



治水分 県民一人当たりの負担額 20,723円

上水道分 西濃14市町民一人当たりの負担額 21,790円

合計すると  
大垣市民一人当たりの負担額は  
42,513円

スポットOgaki、日本共産党に対するご意見・ご質問等はこちらへ  
TEL 81-1383 <http://www.sasada-toyoko.jp/>  
e-mail: [sanbal@sasada-toyoko.jp](mailto:sanbal@sasada-toyoko.jp)